



旧統一教会 と 岐阜市政4

解明は岐阜でも広がるか？

7月17日、新聞報道で旧統一教会の講演会（5月1日）への「岐阜市後援」許可の経過について報道。以降全国でも関連報道が継続。過去の選挙関連の映像も含めて多くの情報が提供されている。岸田総理は8月31日、国民の信頼回復への行動と「教会との関係断つ」と口にした。そして、岐阜市議会にも関連を持つ議員が存在するようです。

和田直也 市議が顧問（元気にする会）

松原のりかず（無所属クラブ）調査により、「旧統一教会」の関連団体と報道されている『岐阜を元気にする会』の「顧問」に「和田直也 市議会議員」の氏名が発見されました。同会の顧問はただ1人でした。

旧統一教会とは

旧統一教会とは、「世界基督教統一神霊協会(旧統一教会)から世界平和統一家庭連合への名称変更を、文化庁がなぜ認めたのか。靈感商法など教団の被害者救済に取り組む弁護士らは名称変更が被害を深刻化させる転機になったと指摘している。」(中日新聞・社説8月2日) 「過去に『靈感商法』が社会問題化し、最近も信者の被害相談が相次いでいた。そんな宗教団体がなぜ政界に食い込めたのか、政治家に警戒心はなかったのか、政策決定などに影響はあったのか、解明すべき問題は数多い。」(岐阜新聞・社説7月29日)を読むと、少し知識を得られます。

12月市政報告は選挙対策

後の講演会（5月1日）は旧統一教会への対策？

柴橋市長会見の7月30日新聞報道によれば、柴橋市長は「旧統一教会から金銭的な寄付や、今年1月の市長選挙の支援は受けていないとした。」とあるが、選挙戦は一般的には1年前ほどから始まると言われる。また、年明けの講演会は事前運動？と不審を抱かせる。

1月実施の「市政報告会」は『個人演説会』（本番の）であり、後援会の「お願い講演会」は前年中に終了するのが普通と思われます。「昨年の市政報告会を開催して頂く」事実が「市長選挙支援」の何ものでもない。との指摘が市民からあるのだが・・・(うら面につづく)

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 電話 253-2500

岐阜市議にも 写真同席 や 「元気にする会」顧問が！

柴橋市長の定例会見（7月29日）で話題となった3件は、家庭ビジョンセミナー（岐阜県平和大使協議会主催）PEACE ROAD 2021 in Gifu（岐阜県平和大使協議会後援）岐阜を元気にする会（岐阜を元気にする会主催・岐阜県平和大使協議会後援）でした。

ピースロードの参加者が市役所を訪問し市長と写真撮影（岐阜市ホームページ掲載）をしていますが、**渡辺貴郎** 市議が撮影同席。本年5月に開催された『岐阜を元気にする会』の「主催団体の顧問」に **和田直也** 市議 の名がある。

岐阜県平和大使協議会（市後援申請の団体）が申請住所に見当たらない？

申請書の不実記載 ？！ 行政を歪めたか？

家庭ビジョンセミナーの主催団体である「岐阜県平和大使協議会」から提出された後援申請書に記載された『申請者住所』を尋ねたが、記載場所の団体が見当たらない。現地の建物は、見るからに「一般民家」であり『カンバン』らしき物もない。との岐阜市民の指摘があります。市担当課は「こども部こども政策課」であり柴橋市長は祝電対応をしている。

担当部に「申請書不実記載」の恐れがあり「事実確認」を要請した。が、「調べません」（こども部）の驚く回答。しかし、「市後援承認要綱」の第8条は、**決定した事業が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その決定を取り消すことが出来る。（1）申請書に虚偽の記載があることが判明したとき。**と、定めてあります。なぜ、公正な点検をしないのでしょうか？ 市民指摘は、『申請団体の住所には、一般民家が存在するが、その民家には、表札の隣りに「民生委員」の標記が掛けられている。』との指摘もあります。

もし、「旧 統一教会」関連団体の事務局を、民生委員が実行しているとすると、岸田首相が『旧統一教会との断絶』（旨）を口に出され、厚生労働大臣が「今後、旧 統一教会との関係を持たない」（旨）をテレビの前で発言されている政府姿勢と相反する岐阜市政が存在している事になります。まずは、公正調査が必要と思うのですが。

「×切」守らなくても『岐阜を元気にする会』（本年5月）後援する岐阜市

和田直也 市議 が顧問に名がある「岐阜を元気にする会」が岐阜市へ後援申請した講演会は、その申請が×切を10日間も過ぎていたが、岐阜市は申請を受け付けて、「岐阜市後援を承認」している。この「申請遅延理由書」が不思議なことに、申請書提出団体でなく、申請を受けた市国際課により作成されている事。12月の集会開催の御礼が市後援承認？

